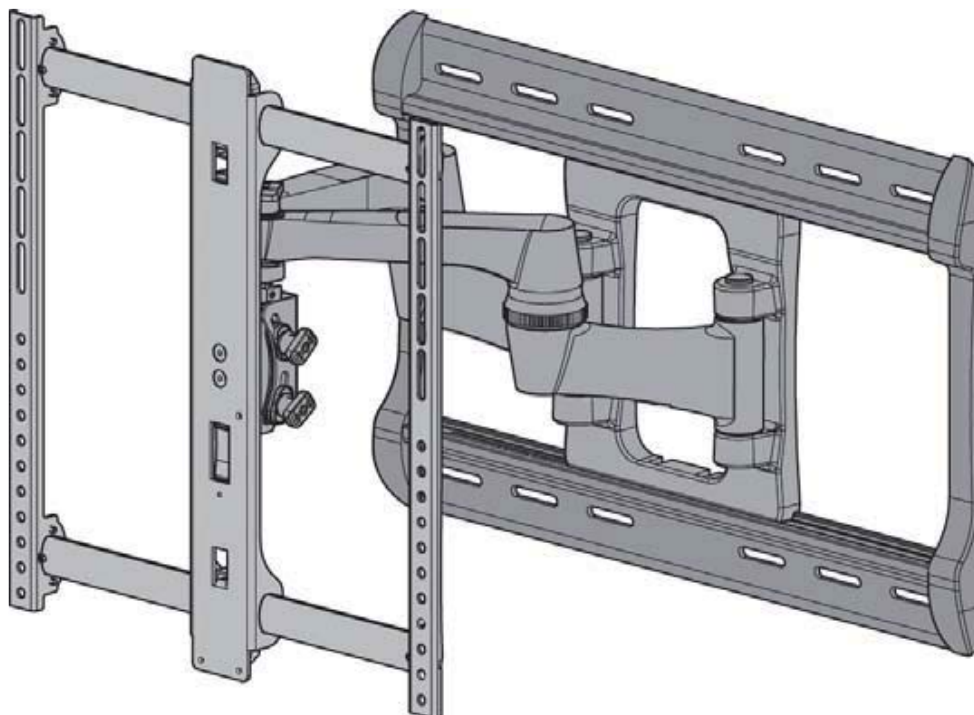
XF228壁掛金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 79kg以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、XF228 の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
XF228 は 42V 型～ 90V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ
本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ
薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN
お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒 559-0031　大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社　TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050
http://www.network-jpn.com/　 E-mail : info@network-jpn.com

XF228 ver2.0NY-1

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠	**警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠	**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
⊘	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

⚠警告

⚠ 禁止
壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の５倍の重量に耐える強度が必要です。
XF228 壁掛金具は、42V 型～ 90V 型で、総重量79kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の（鉄骨製などの）壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

⊘ 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⊘ 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

⊘ 湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。 テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠ 禁止
組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗ テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

⚠ 禁止
本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

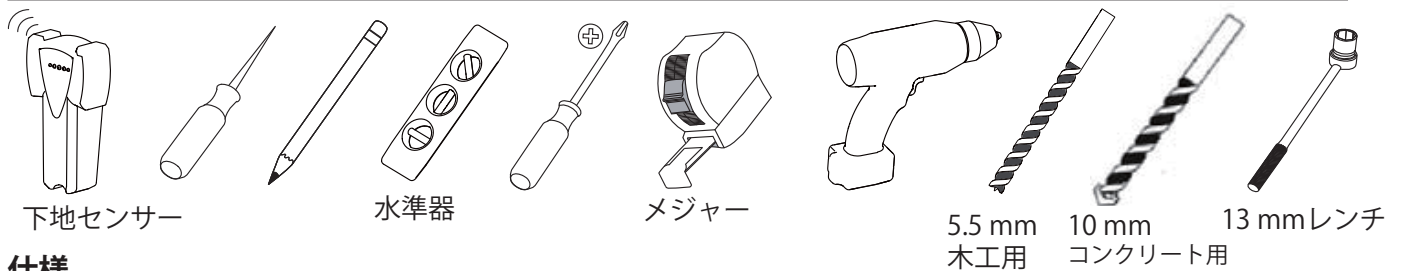
⊘ 取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗ 組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン（株）に連絡して下さい。
尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

❗ 壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

⊘ ネットワークジャパン（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

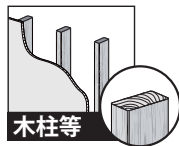
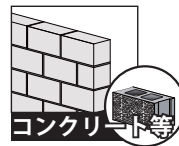
重要　本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類

仕様

耐荷重　　　　　：79kg（テレビと付属品を含みます）
適応テレビサイズ：42V 型〜 90V 型
※上記を超過しないようにして下さい。

ティルト調整　　：-15°　+5°
左右首振り角度　：±75°
水平度調整　　　：±5°

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
（空洞や隙間のあるブロックには使用できません。）

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の 5 倍を支えられなければなりません。
★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン（株）又は認定業者にお問い合わせください。
★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

⚠ 警告 :本製品には小さい部品が付属しており､誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。　破損した部品は絶対にご使用にならないでください。
注記 : M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。
付属の部品をすべてを使用するわけではありません。

ＴＶ取付けネジ類

01 x1 ブラケット

M4 x 20mm 02 x4
M5 x 20mm 03 x4
M6 x 25mm 04 x4
M8 x 25mm 05 x4
M4 x 30mm 06 x4
M5 x 30mm 07 x4
M6 x 40mm 08 x4
M8 x 45mm 09 x4
M4 x 40mm 10 x4
M5 x 40mm 11 x4

ＴＶ取付けワッシャー

M4 / M5 12 x4
M6 / M8 13 x4

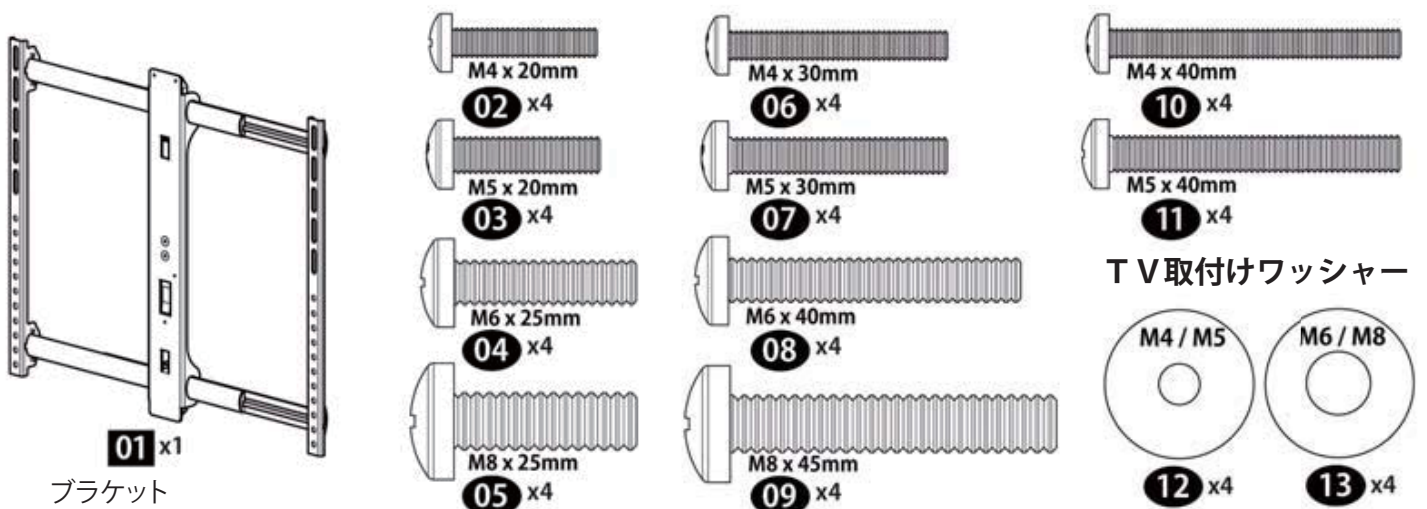
TV取付スペーサー

14 x4 4mm
15 x4 7mm
16 x4 14mm
17 x4 24mm

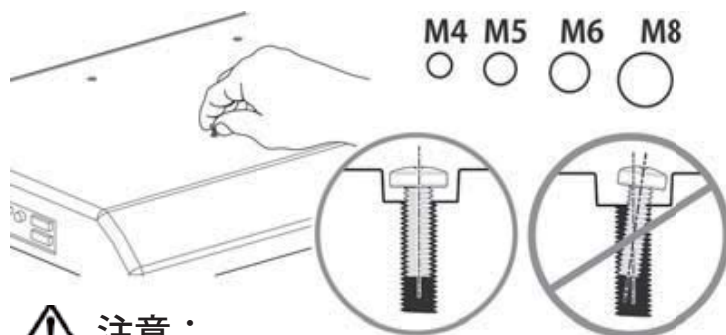
18 x4 スペーサーキャップ

六角レンチ

5/32 in. 28 x1

XF228 ver2.0NY-3

STEP 1　ブラケットをテレビに取り付ける

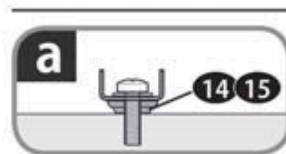
1－1　テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径（M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。

⚠ **注意：**

必ずネジ穴に手でねじ込んでみて、適合するネジ山の確認とねじ込める長さを確認してください。ネジ山が合わなかったり、必要な長さに対して短か過ぎるネジはテレビを十分保持できず、長すぎるネジはテレビの内部に損傷を与える恐れがあります。

短すぎるネジ　　適正なネジ　　長すぎるネジ

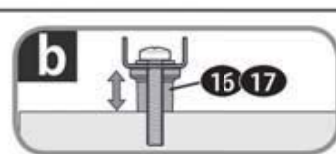
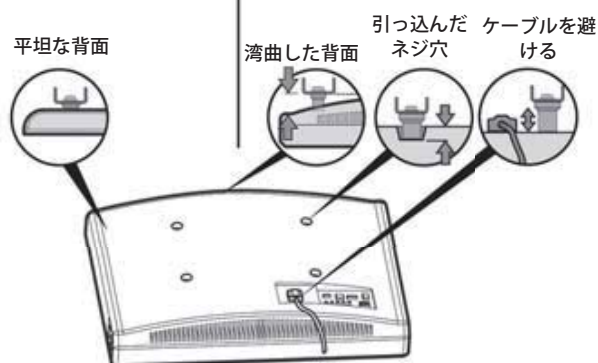
1－2　スペーサーの取付位置

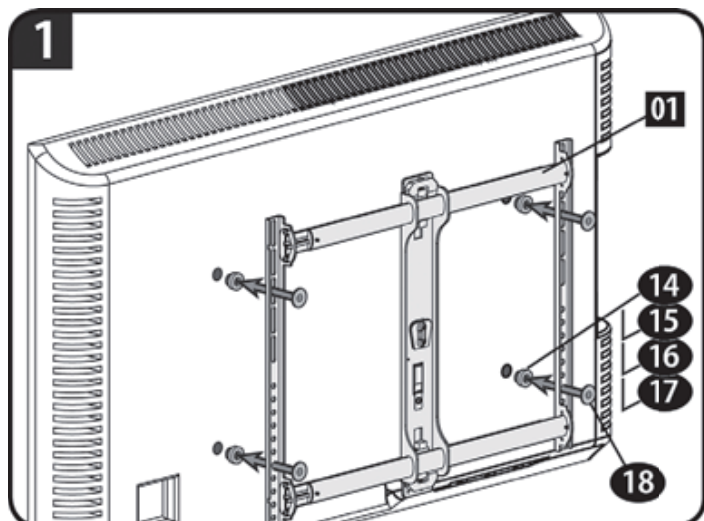
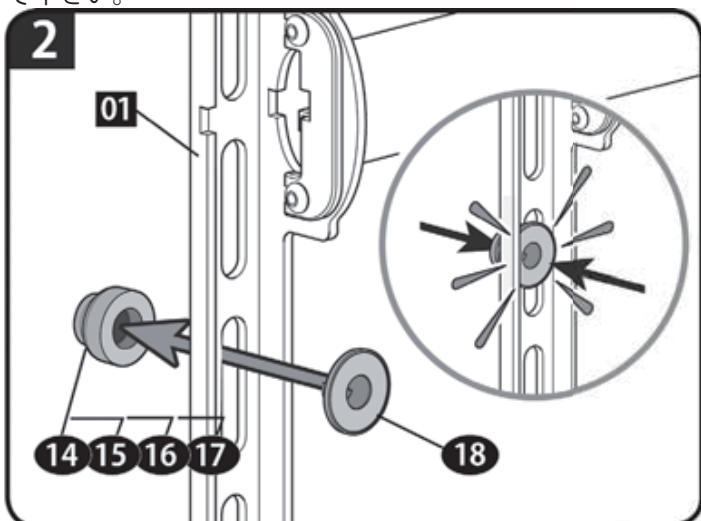
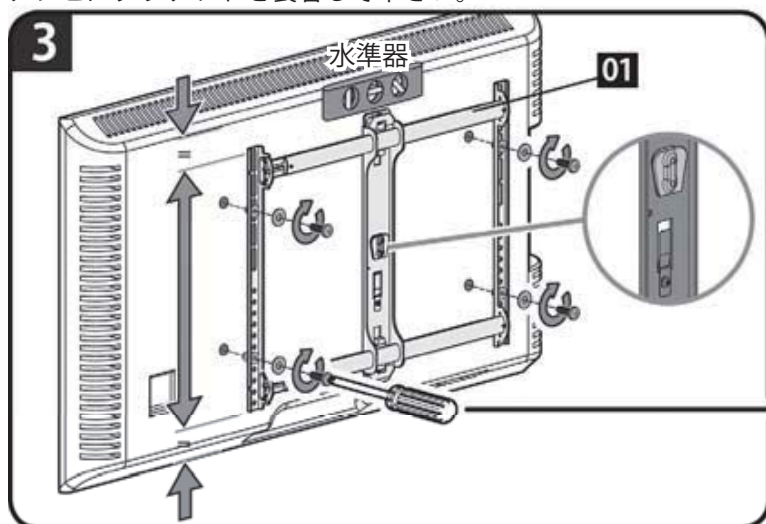
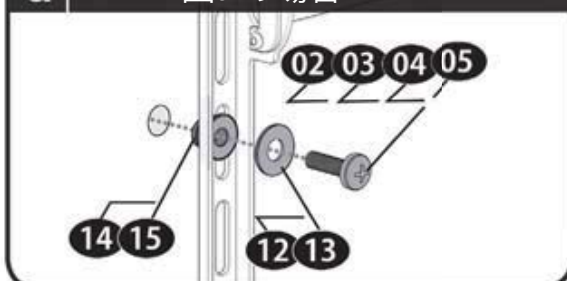
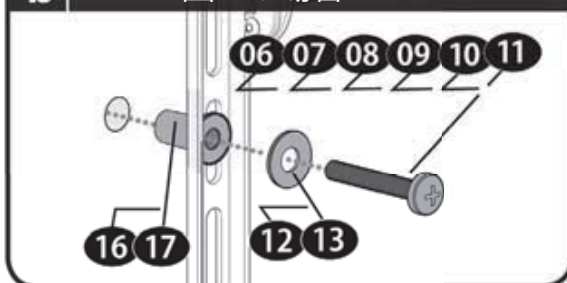
下図の取付方法を確認し、テレビの状況にあった長さのスペーサーを選択してください。（TV 背面の形状や状況により、TV ブラケット取付時のスペーサーの長さと位置を選択します。）

⚠ **注意：** 同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

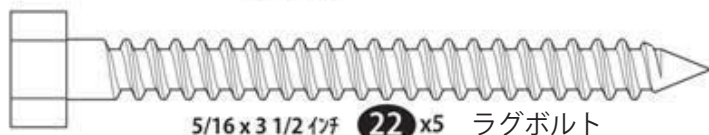
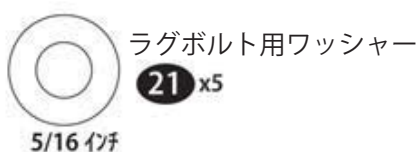
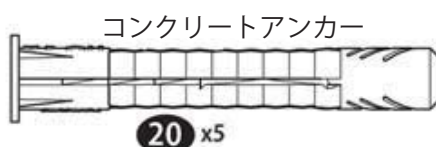
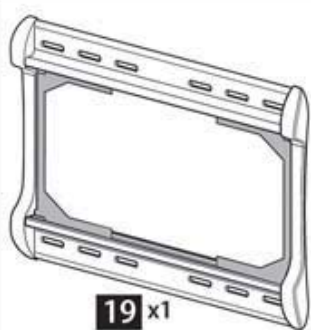
1－3　ブラケットを調節する

1）下図のように、ブラケット [01] の中心にある支柱の上下のネジ A, B を 5/32 インチ六角レンチ [28] を用いて緩めておきます。

2）ブラケット [01] をテレビの背面にあてがい、ブラケット [01] の左右の支柱をテレビのネジ穴に合わせて下さい。このとき、ブラケット [01] の真ん中の支柱は左右の支柱の真ん中になるように調節して下さい。位置合わせが終わったら、ブラケット [01] の中心にある支柱の上下のネジ A, B を 5/32 インチ六角レンチ [28] を用いて締め付けて下さい。

⚠ **注意：** A,B のネジを閉めるとき、無理に強く締め付け過ぎないで下さい。締め付け過ぎると部品を損傷することがあります。

1－4　テレビにブラケットを取付ける

1）前項の1-2で選択したスペーサーとスペーサーキャップを図のように装着します。

2）図のように、スペーサー（[14][15][16][17]）に金具の上からスペーサーキャップ[18] をはめます。スペーサーキャップ[18] は「パチッ」と音がするまでしっかりとはめて下さい。

3）前項の1-1で選択したネジを使用し、水準器で水平を確認しながら、テレビにブラケットを装着して下さい。

STEP2　壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁に取り付ける場合は、６ページの STEP ２A に従って固定します。コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページの STEP ２B に従って固定します。

⚠ 警告

本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。 破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注意：付属の部品をすべて使用するわけではありません。

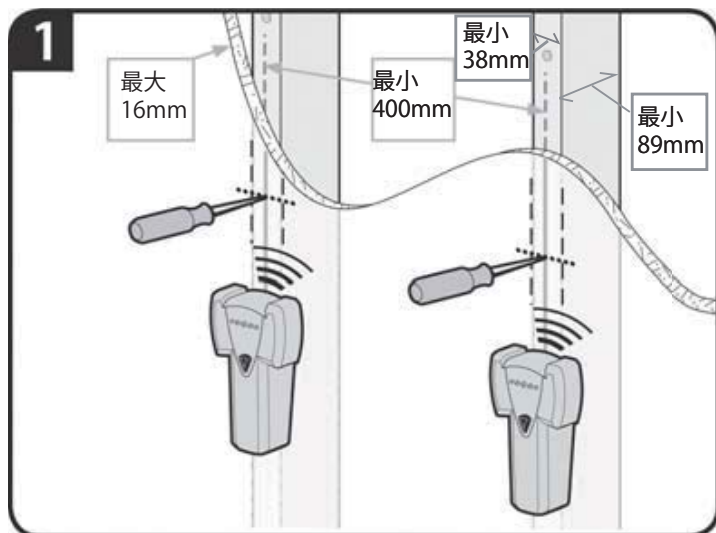
STEP 2 A　壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

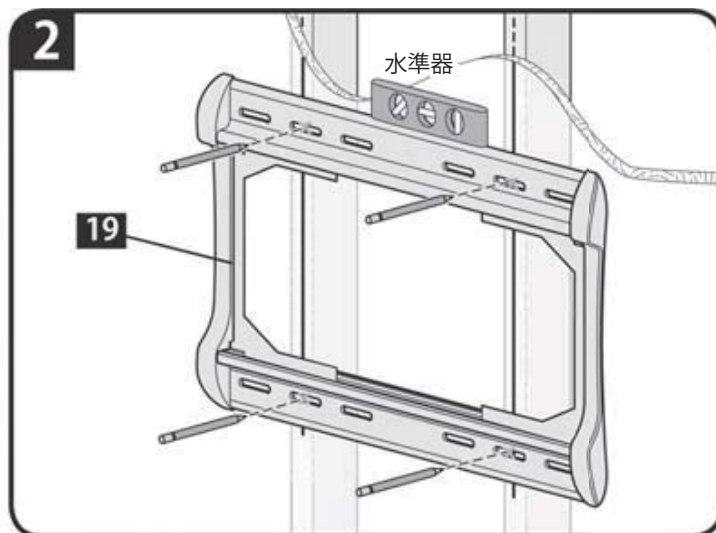
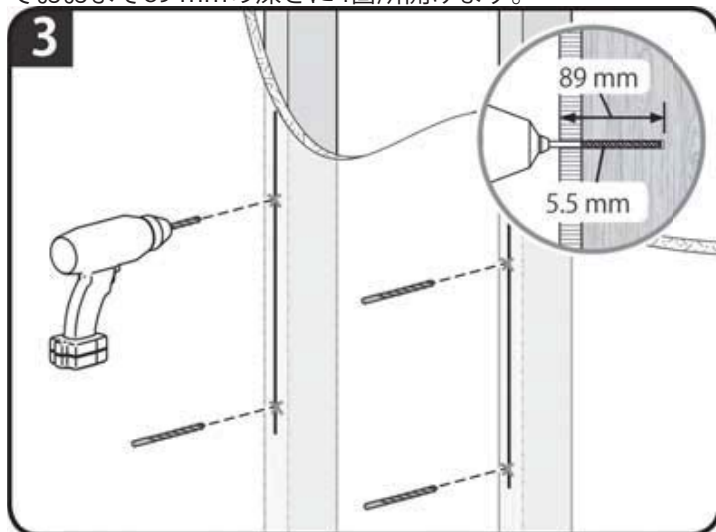
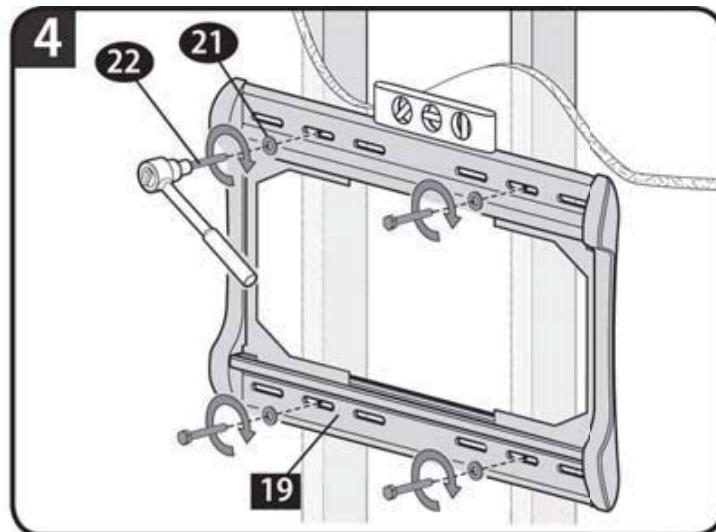
⚠ 警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
　なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件：★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
★ 柱と柱の間隔は、400mm 以上空けて下さい。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

注記: 下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。
下記の 1 ～ 3 は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

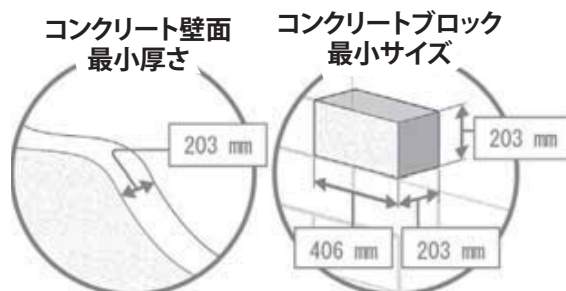
1. 下地センサーや千枚通し、細い釘などを使って下図の様に柱の位置を確認します。下地センサーを左右に動かして柱の端を検知しマーキングします。二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。

1
最大 16mm
最小 400mm
最小 38mm
最小 89mm

2．壁掛金具 [19] をご希望の高さに置き、水準器で水平度を確認しながら、下穴を開ける位置が柱の中心位置に来るように位置決めしペンでマークします。

重要： 下穴を開ける位置は、必ず柱の中心になるように注意して下さい。

3．下穴をマークの位置に5.5mm 径のドリルビットを使っておおよそ89 mmの深さに4箇所開けます。

4．前項で開けた下穴と壁掛金具[19] のネジ穴をあわせて、水準器で水平度を確認しながら、ラグボルト[22] とラグボルト用ワッシャー[21] を使用し壁掛金具[19] を固定します。

STEP 2 B　コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取付例 ---

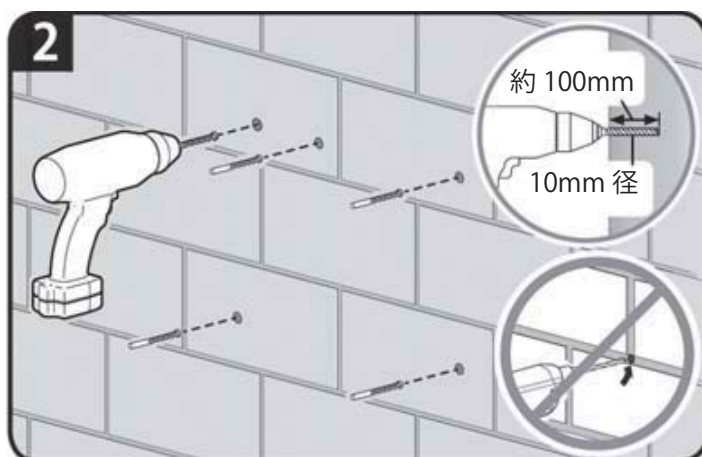
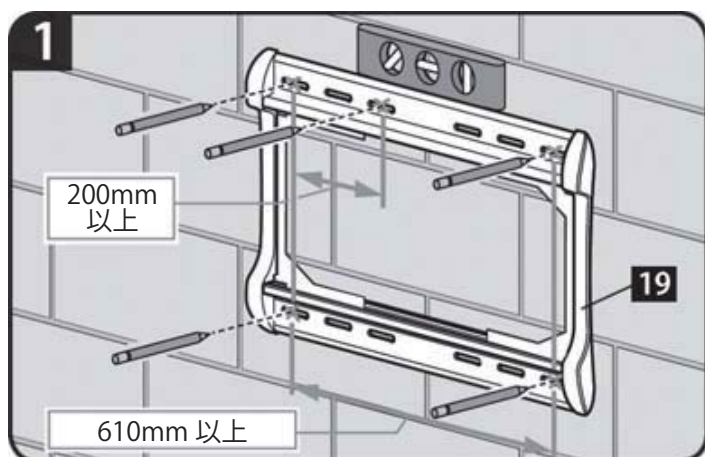
⚠ **警告:** 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件：
★ 壁掛金具[19] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
（空洞のあるものには使用できません。）

1．図のように壁面の希望の高さに、壁掛金具 [19] を配置します。壁掛金具 [19] は水準器で水平を確認してから、穴位置に 5 箇所のマーキングを付けます。

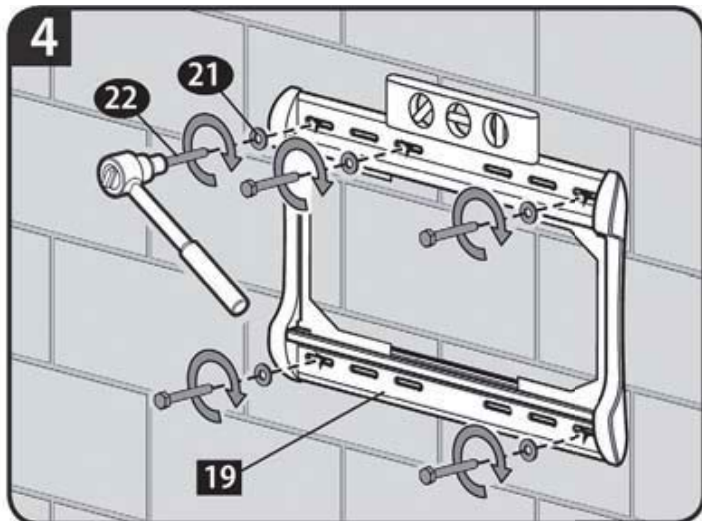
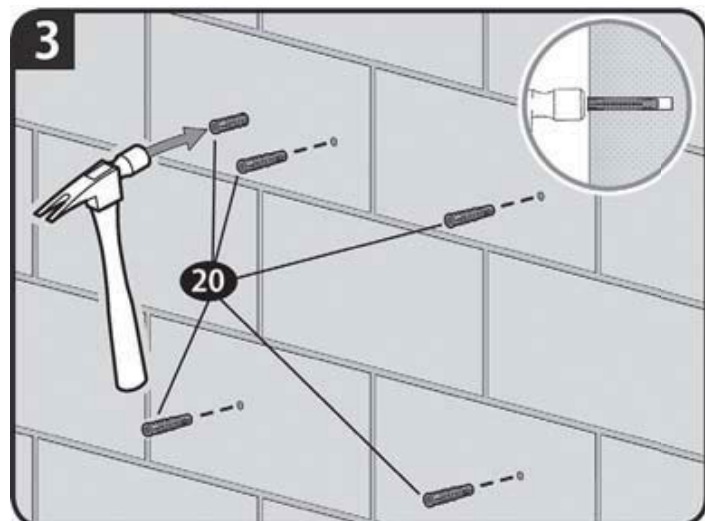
重要： この時、水平方向のネジ穴の間隔が、上の段は200mm以上、下の段は610mm以上開くようにしてください。

2．下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、約100mm の深さに下穴を5 箇所開けます。

重要： 取り付け強度が保てないので、ブロックの間のモルタル部には、絶対にドリルで穴を開けないで下さい。

3．上記で開けた下穴にコンクリートアンカー [20] を打ち込みます。

重要： コンクリートアンカー[20]が壁面より出張らないようにしっかりと打ち込んでください。

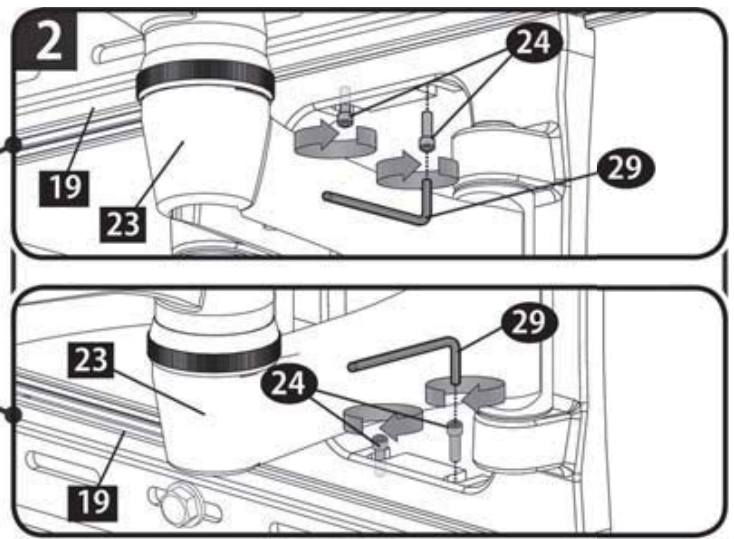
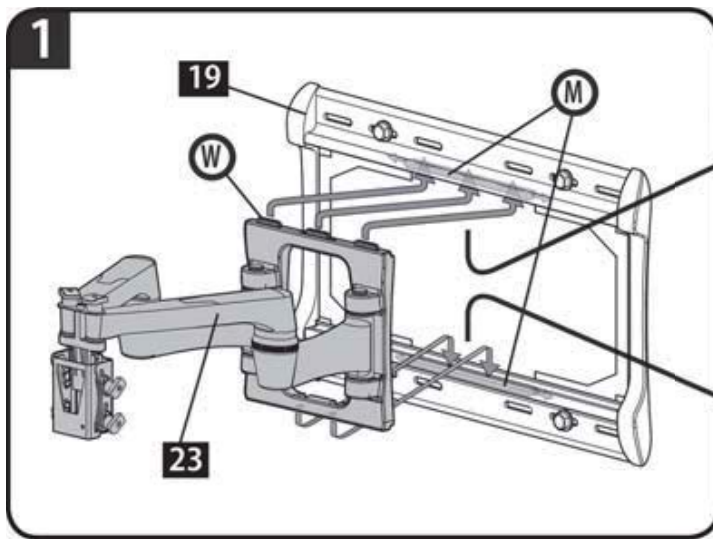
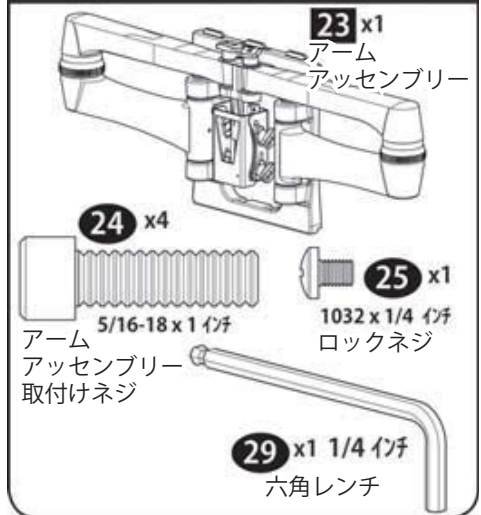
4．壁掛金具[19] の取り付け穴に、ラグボルト用ワッシャー[21]をはめたラグボルト[22] を使用し、コンクリートアンカー[20]にねじ込んで固定します。

XF228 ver2.0NY-6

STEP3　テレビを壁掛金具に取り付ける

3－1 アームアッセンブリーを壁掛金具に取付ける

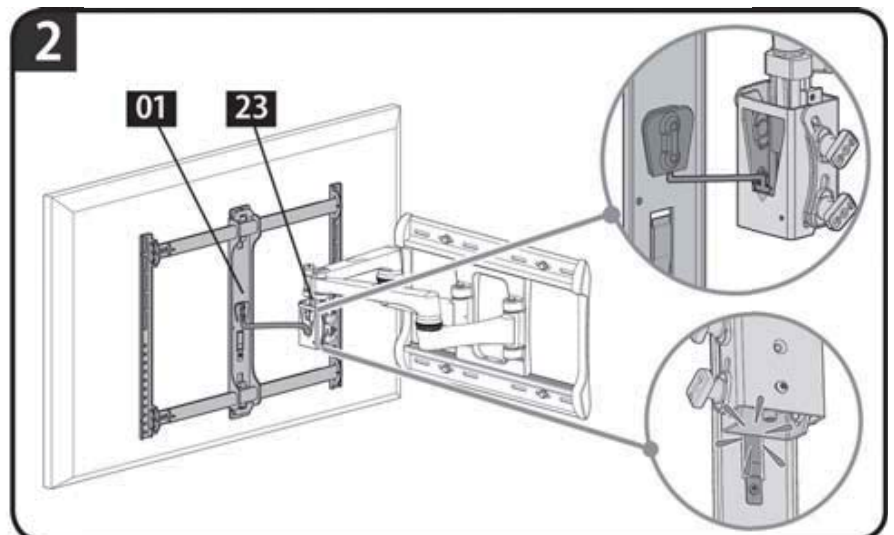
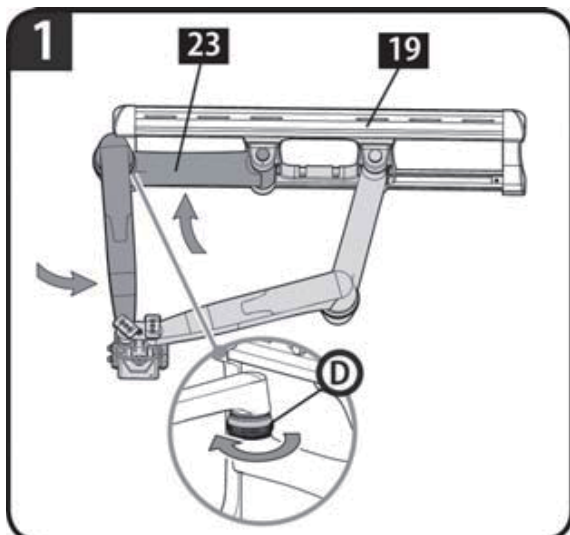
1．図の様に、アームアッセンブリー [23] のツメ（W) を壁掛金具 [19] のレール（M）部に差し込むように装着します。

注記：バランスよく作業するために､アームアッセンブリー [23] のアーム部は、真ん中位置に引き出して作業して下さい。

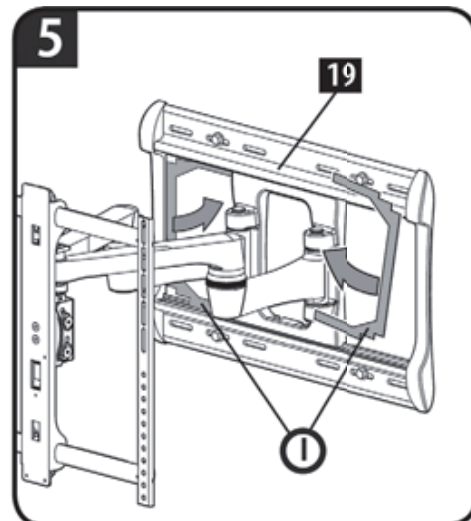
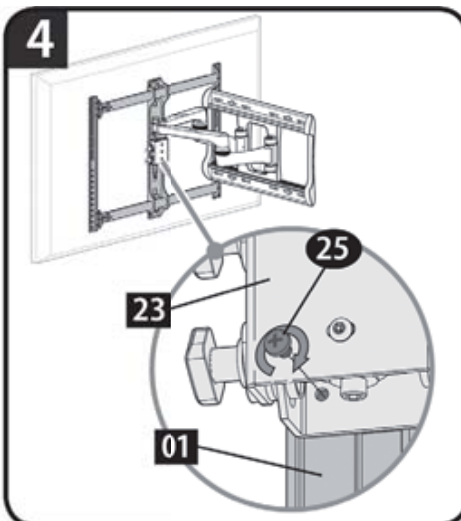
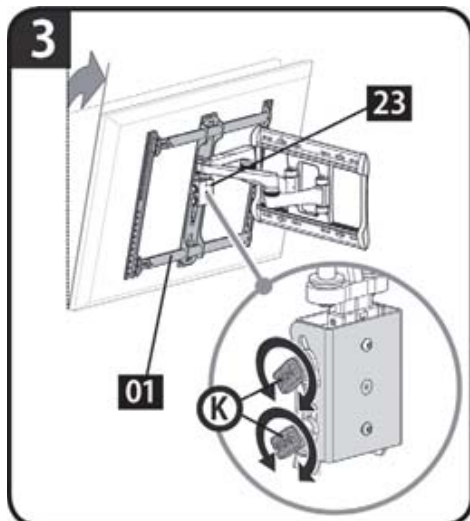
2．図のようにアームアッセンブリー [23] の上下各 2 箇所のネジ穴に､アームアッセンブリー取付けネジ [24] を差込み、六角レンチ [29] で締め付けて固定します。

3－2 テレビをアームアッセンブリーに取付ける

注意： この作業は重量物を取り扱うので、二人以上で行って下さい。

1．図のように、アームアッセンブリー [23] の片方のアームの手元の部品を、壁に押し当てるように壁と平行にします。その後、テンション調節ダイアル（D）部をまわして固定して下さい。

2.図のように、テレビに取り付けたブラケットのノブをアームアッセンブリー [23] に差し込みます。この時、正しく差し込めると､「カチッ」としたクリック感があります。

3．アームアッセンブリー [23] の図のノブ（K）を緩めて視野角を仰向けに傾けて下さい。

4．アームアッセンブリー [23] とブラケット [01] を固定するために、図のネジ穴へロックネジ [25] をねじ込みます。

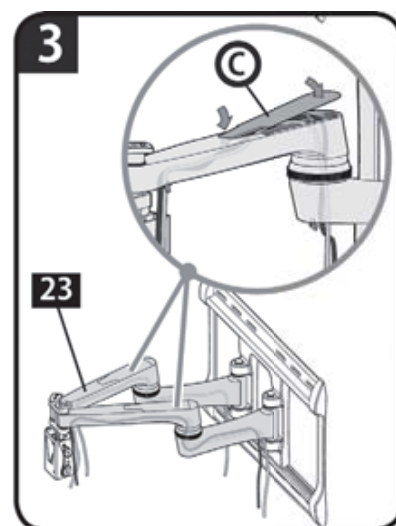
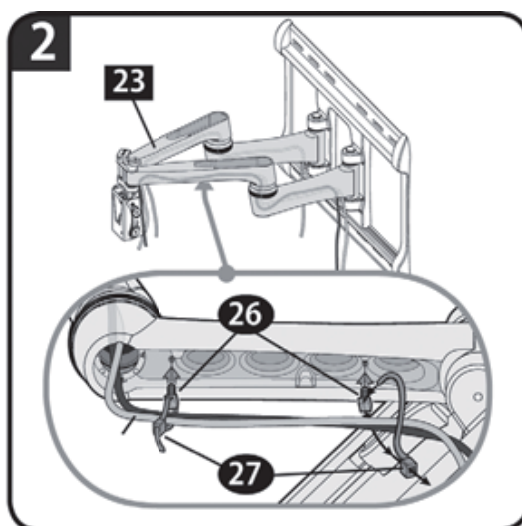
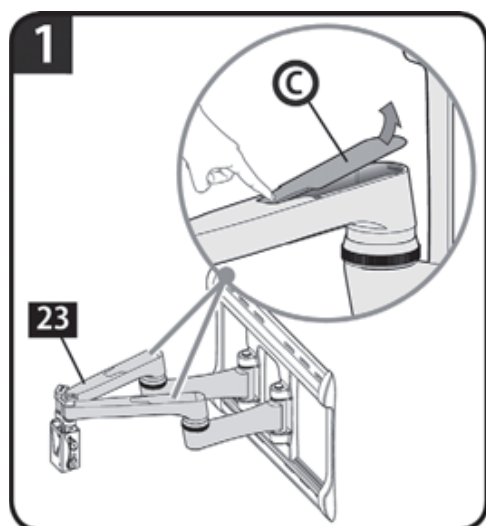
5．壁掛金具 [19] から保護材（I）を取り除いて下さい。

STEP4　ケーブル類の整理

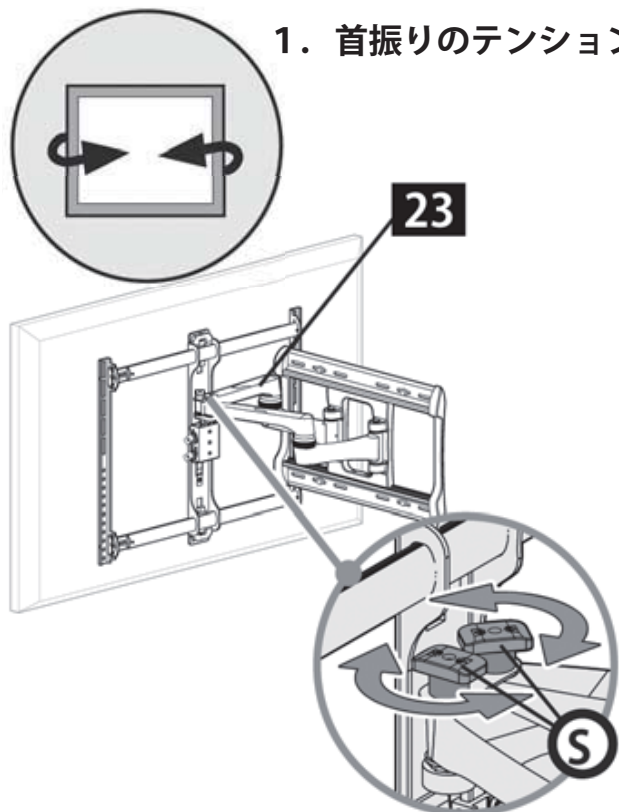
STEP 4 で使用する部品

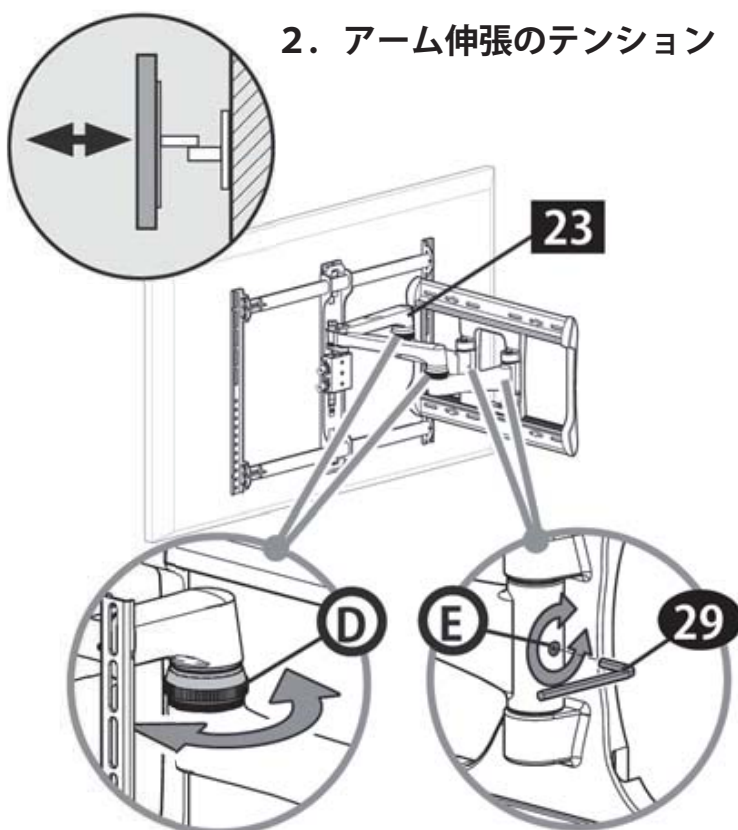
1．アームアッセンブリー [23] のカバー（C）を図のように開きます。

2．固定具 [26] に結束バンド [27] を図のように通しておき、ケーブルを綴じてアームアッセンブリー [23] の図の位置に固定具 [26] を差し込みます。

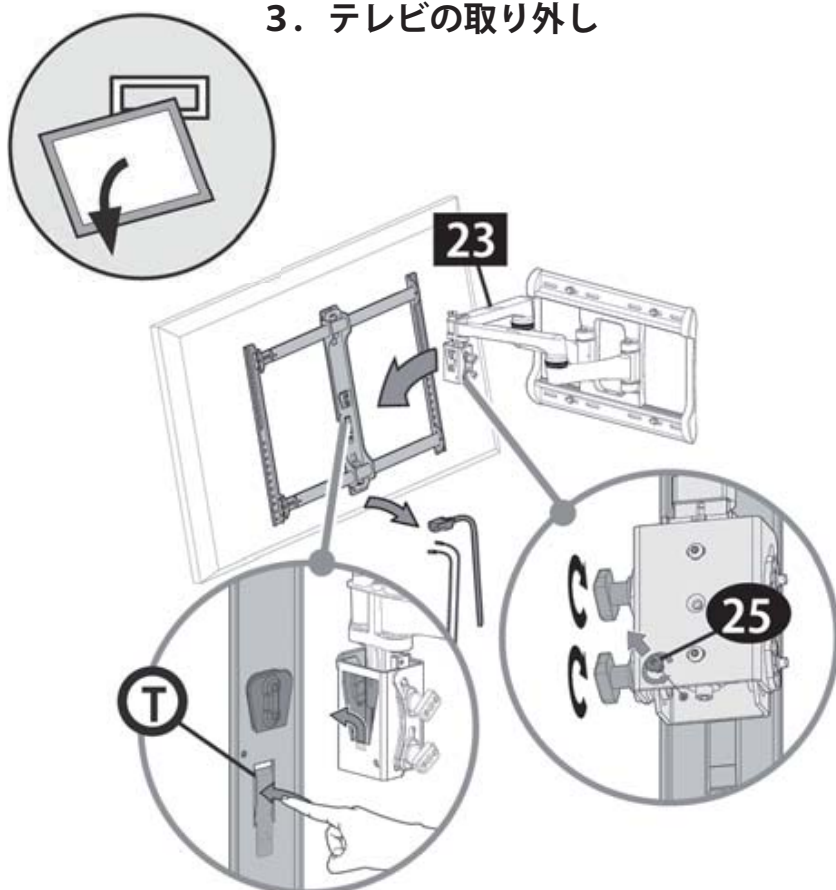
3．ケーブルを整理した後、カバー（C）を元通りに戻してください。

XF228 ver2.0NY-4

STEP5　各部の調節

1．首振りのテンション

図のように【S】部のテンション調整ノブを回して調整できます。

2．アーム伸張のテンション

アームの関節部分のテンションは図のように【D】部のテンション調整ダイアルを手で回して調整できます。

アームの取り付け部分のテンションは図のように【E】部のネジを付属の六角レンチ [29] を使って調整できます。

3．テレビの取り外し

注意： この作業は重量物を取り扱うので二人以上で行って下さい。

この作業は 8 ページの 3-2 項の作業を逆の手順で行います。

1．ロックネジ [25] を取り外します。

2．アームアッセンブリー [23] のノブを緩めてテレビを傾けます。

3．ロックしているセーフティータブ【T】部を押して解除して下さい。

4．必ず大人が 2 人以上でテレビを持ち上げてアームアッセンブリー [23] からブラケット [01] をはずして下さい。

外観図

単位： mm

最大 860
最小 137
最小
最大
5mm - 550mm
10
48
584
Ø10
83
120mm -850mm

610
406
489
294
396
406
789

ROLL
±5°
603
最大幅 864

789
±75°

83 - 711
TILT
+5°
-15°

83